

2023年10月号

# 四万十図書館だより

発行\*四万十市立図書館

秋冷が爽やかに感じられる今日この頃、皆さまお元気にお過ごしでしょうか？今月は、没後10年となった本県出身のやなせたかし氏の関連本や子どもたちが夏の間当館で読みつないだ本等を展示しています。秋の夜長に図書館の本で読書はいかがでしょう？

## ＝図書館情報＝

「よもよも謎解きラリー 秋冬編」  
リニューアル！

通年開催中の指定本を読んでクイズに答えていく「よもよも謎解きラリー」の本を更新しました。クイズの正答数に合わせてプレゼントを用意しています。

読む楽しみを子どもたちがゲーム感覚で体験していくイベントです。

場所：児童コーナー入口付近

※イベントへの参加や詳細は、カウンターまで。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

→休館日

## 一般展示

「追悼 やなせたかし」

高知県出身で没後10年となったやなせたかし氏を追悼して関連本を集めました。

場所：一般展示コーナー

## 一般郷土展示

「どうなる元親 どうでる一豊」

NHK大河ドラマ「どうする家康」に関連づけ高知県の戦国武将である長宗我部元親・山内一豊関連本を展示しています。

展示：一般郷土コーナー

## 児童展示

「読みつないだ本」

本を読みつなぐ参加型展示の期間中に貸出のあった絵本・児童書や高知新聞「読もっか」の掲載本を展示しています。

場所：児童展示コーナー

## 児童特集展示

「第28回日本絵本賞」

日本絵本大賞受賞作品を展示しています。

「第35回読書感想画中央コンクール」

本を読んだ感想を絵に描いてみませんか？

場所：児童郷土棚上段



# 新着本紹介



<b>小説</b>	『化かしのもの』 箕輪 諒
『或るスペイン岬の謎』 柄刀 一	『八月の御所グラウンド』 万城目 学
『おばちゃんに言うてみ?』 泉 ゆたか	『花散るまえに』 佐藤 雫
『逆転正義』 下村 敦史	『百年の子』 古内 一絵
『球形の囁き』 長岡 弘樹	<b>エッセイ</b>
『月夜行路』 秋吉 理香子	『CARPE DIEM』 ヤマザキ マリ
『桜の血族』 吉川 英梨	『自然知能』 外山 滋比古
『死者の試写会へようこそ』 赤川 次郎	<b>外国文学</b>
『十戒』 夕木 春央	『思い出すこと』 ジュンパ・ラヒリ
『終末のアリア』 辻 寛之	『グレート・サークル』 マギー・シブステッド
『首都襲撃』 高嶋 哲夫	<b>郷土</b>
『新古事記』 村田 喜代子	『近代・東北アイヌの残影を追って』 筒井 功
『蒼天の鳥』 三上 幸四郎	『シン・マキノ伝』 田中 純子
『たわごとレジデンス』 原 宏一	『寺田寅彦「線香花火」「金平糖」を読む』 松下 貢他
『遠火』 今野 敏	『伝言』 中脇 初枝
『信長の遺書』 山本 音也	『母子草』 辻堂 魁

<b>伝記</b>	『カビンくんとドンマちゃん』 加藤 路瑛
『エリザベートと黄昏のハブスブルク帝国』 小宮 正安	『臍臓がんの何が怖いのか』 本田 五郎
<b>旅行</b>	『不眠睡眠障害治療大全』 井上 雄一
『温泉でぼかぼか道の駅全国ガイド』	<b>料理</b>
『るるぶモルディブ2023』	『さーやんのゼロスキル! キャンプ飯』 さーやん
<b>ライフスタイル</b>	『玉ねぎ麺レシピ』 橋本 加名子
『老いの地平線』 樋口 恵子	『野菜がたっぷり』
『女子が一生食べていける仕事選び』 上田 晶美	『レンチン1回で』
<b>教育</b>	<b>スポーツ</b>
『音楽学部』 三井 綾子	『美しい合気道』 白川 竜次
『境界知能の子どもたち』 宮口 幸治	『五輪カルテル』 上杉 隆
『商業科高校』 大岳 美帆	<b>語学</b>
『なわとび跳べないぶきっちゃん』 オチョのうつつ	『いちばんやさしい使えるタイ語入門』 原田 信生
<b>医学</b>	『口を鍛えるドイツ語作文』 橋本 政義
『いちばんわかりやすい図解すい臓の病気』 上坂 克彦	『もっとやさしい起きてから寝るまで中国語表現600』 顧 蘭亭他

## 四万十市立図書館 利用案内

開館時間・休館日 午前9時～午後7時／館内整理日(毎月最終金曜日)・年末年始・蔵書点検期間など

貸出規則 図書10冊(2週間)／雑誌5冊(2週間)／DVD・ビデオ2点(2週間)

定期的なイベント おはなし会(毎週日曜日10時20分～／場所：おはなしの部屋)

※夜間・土日祝日駐車レーンを確保しました (守衛棟北側縦列駐車3台分)